

デザインに正解、不正解はありません

POINT パッケージデザインを変えるだけで商品が売れるわけでない。必要なモノ・コトをお互いに見つけ、作り上げましょう。

デザイナーと仕事をする時、私たちの意見を聞いてくれず、上から目線で、デザイナーの思い通りに進んでしまいます。デザイナーとの関係はどうあるべきですか？

デザイナーの意見が100%正しいわけはありません

仕事をする上で、デザイナーの立ち位置が上とか、上から目線とか、デザイナーさんの思い通りで私たちの意見を聞いてくれない等々、お客様から聞かれます。

仕事を依頼する時、デザイン作業に入る前に、どちらの立場が上とか下とかではなく、パートナー・仲間という意識が大切ではないでしょうか。

デザイナーの意見、アイデアが100%正解ではありません。さらにデザインに正解、不正解はありません。

そのデザイン・戦略が正解になるよう、お互いが素直に話し合い、歩み寄り、咀嚼して、最終成果物に向かうモノです。

お互いに悪いモノを作ろうとは考えていないはず。デザイン・戦略の成功、売上向上が最終目標です。

また、「パッケージデザインを変えたのに商品が売れない」という言葉も耳にします。

これには幾つかの問題があります。たとえば、売れる、売れない、の判断です。ギャラを払う立場からすれば早急な結果を望みますが、1年後に売れ始めたり、季節が変わって売れたり、価格を変えて売れたり、販売場所であったり、要因は様々です。

デザイナーとクライアントが研究し、シエイプアップし、総合的に評価することもデザインです。

既製品は安い、オリジナルは高い

デザインが、高い、安いというのは非常に判断するのが難しく思います。

価値観は個人差で、既製品が良い場合

ももちろんあります。オリジナルは制作費用がかかる場合もあります。特に今の経済状況を考えれば、制作コストを下げたくなるコトは理解できます。

たとえば、個店の包装紙を、同じ形同じデザインの既製品を使うとすると、他店とは差別化ができません。

自社製品であることさえ認知されない場合もあります。これは既製品のマイナス部分です。

以上のことは説明するまでもなく、皆様も既に経験され、お分かりのことと思います。

逆に包装紙の中にある小さな梱包材などは既製品が使われ、他社の製品と同じ場合があります。

使い方、アイデアで大変なメリットになります。この部分を探り当てるのもデザインです。

資金に余裕があり、すべてオリジナル製品を使うことはベストです。購買者を満足させる、喜ばせるモノにはなるでしょう。

商品の長生き、企業の長生きに、きつと繋がっていくことでしょ。

フリープロダクションだからこそ、持てる情報

私どものような小さなプロダクションが、なぜ海外へ自社製品を卸しているのか？

大手代理店からナショナルクライアント、農業から女性下着、ポスターからフリーペーパーまで。

決して成功例だけではありません。もちろん数多くの失敗事例もあります。それらが私たちプロダクションの財産情報なのです。

静岡にも数多くのフリープロダクションが存在し、大活躍しています。他業種他社と数多く接点があり、それぞれのプロダクションが豊富なデータを所有しています。そこにもヒントはあるでしょう。

まずは第一歩、きっかけ作りでプロダクションとお付き合いしてみましょ。

回答



㈱カクタスデザイン
代表取締役
デザイナー
黒住政雄 さん